

## 令和8年度 学校経営計画書

学校番号	56	学校名	静岡県立掛川東高等学校	校長名	邑田 聡一
------	----	-----	-------------	-----	-------

## 1 スクール・ミッション

校訓「清く、明るく、正しく、強く」のもと、礼儀正しく誠実な人物を輩出する小笠掛川地区に位置する普通科単位制の伝統校として、自律と自立を重んじ、多様性を認め、「主体的・対話的で深い学び」を実践する教育活動を通して、探究する姿勢を身につけ、人生を主体的に創造し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。

## 2 目指す学校像

## (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー (卒業までに身に付ける力)	カリキュラム・ポリシー (本校での学び・授業の特色)	アドミッション・ポリシー (求める生徒像)
<p>校訓を土台とし、「清く」「正しく」の心で自らを律し、他者とともにウェルビーイング（自他の幸福）を創り出す「自律」。「明るく」「強く」の姿勢で自ら課題を見出し、未来を切り拓き社会を生き抜く「自立」。この両輪を併せ持った「自律と自立」の力。</p>	<p>「自律と自立」を体現する人材を育成するため、以下を柱とした教育課程を編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別最適で協働的な学び（教育DX）」</li> <li>ICT 端末を活用し、個々の習熟度に応じた「個別最適な学び」と、デジタルを用いた「協働的な学び」を両立させた、質の高い授業を行います。</li> <li>・「社会と繋がる実践的な学び（探究）」</li> <li>総合的な探究の時間や特別活動を中心に、地域や外部機関と主体的に連携しながら、正解のない問いに挑み、実社会の課題を解決する学習を推進します。</li> <li>・「多様な夢を実現する柔軟な学び（キャリア教育）」</li> <li>単位制の利点を活かした柔軟な科目選択と質の高いキャリア教育により、四年制大学進学をはじめとする多様な夢の実現を支援します。</li> </ul>	<p>本校の校訓「清く、明るく、正しく、強く」を胸に刻み、自らの可能性を信じて「自律と自立」を目指す意欲的な生徒を歓迎します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公共心」（「自律」の基盤）</li> <li>多様な他者を尊重し、部活動や行事、地域活動等に積極的に参加し、協働してより良い集団を創ろうとする生徒。</li> <li>・「向上心」（「自立」の原動力）</li> <li>基礎的な学力を備え、本校での学びを通じて自己の能力を高め、自らの未来を切り拓く、高い目標に挑戦しようとする強い意志を持つ生徒。</li> <li>・「探究心」（「自立」を支える力）</li> <li>社会の変化や事象に関心を持ち、ICT 機器等を活用しながら、正解のない未知の課題に対しても主体的に解決しようとする生徒。</li> </ul>

## (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 【規範と自律】 他者への思いやりと高い規範意識を養い、自らを律する力を育む。
- イ 【教育の高度化】 ICT を活用した個別・協働的な学びで、主体的な学習習慣と確かな学力を育成する。
- ウ 【自立と探究】 自己の役割を見出し、正解のない問いに挑戦して未来を切り拓く姿勢を育む。
- エ 【共生と幸福】 多様性を尊重し、切磋琢磨できる安全な環境でウェルビーイングの基盤を育む。
- オ 【地域協働】 外部機関と連携した実践的な学びを通じ、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- カ 【学校運営基盤】 教職員の健康と働きやすさを確保し、質の高い持続可能な教育活動を実現する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	<p><b>規範と自律</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員による「自律と自立」を後押しする日常的な関わりをはじめ、これらをテーマとした LHR や学期末の振り返り等を通して、生徒の意識高揚を図る</li> <li>・教職員と生徒がともに、時と場をわきまえた丁寧な言葉遣いや清潔感のある身だしなみを心がけ、他者を尊重する温かいコミュニケーションを実践する</li> <li>・生徒会活動等を通し、自らルールやモラルの意義について考え、主体的に守る意識を養う</li> <li>・生徒自ら整理整頓を心がけ、声を掛け合う雰囲気醸成する</li> <li>・ノーチャイムを通じて、生徒自身が次の予定を考え、時間を見て行動する力を育成する</li> <li>・電子（端末）や紙媒体等に自己の行動記録を残す習慣を定着させ、自らの日常生活を振り返る主体的な姿勢を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『「自律と自立」の意味について考え、行動することができた」と答える生徒 95%以上を維持する</li> <li>・「気持ちのよい挨拶ができてい」と答える生徒 95%以上を維持する</li> <li>・「制服の端正な着こなしができた」と答える生徒 95%以上を維持する</li> <li>・「ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラルを守ることができた」と答える生徒 95%以上を維持する</li> <li>・「清潔な環境にするように心掛けた」と答える生徒 90%以上</li> <li>・「次の予定を考え、時間を見て行動することができた」と答える生徒 95%以上を維持する</li> <li>・「行動記録を通じて、自分の成長や次の課題を客観的に捉えることができた」と答える生徒 70パーセント以上</li> </ul>	<p>生徒課</p> <p>生徒課</p> <p>生徒課</p> <p>生徒課</p> <p>保健相談課</p> <p>生徒課</p> <p>学年担任</p>
イ	<p>教育の高度化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が相互に授業見学を行い、多様な指導方法（特に ICT 活用や協働的な学び）を学び、授業改善を推進する</li> <li>・ICT 教材や課題配信等を有効に活用しながら適切な課題を設定し、家庭で学習する習慣の定着をはかる</li> <li>・個別最適で協働的な学びに向けた ICT を活用した授業を展開し、生徒の学力の向上をはかる</li> <li>・学びの基礎診断等を活用し、学習方法、学び方に対するアドバイス（個別最適な学びの支援）を行う</li> <li>・情報セキュリティ意識を高め1人1台端末を有効に活用できる環境整備と生徒及び教員の積極的な利用を推進する</li> <li>・3年間を見据えた総合的な探究の時間の指導方法を検証し、生徒の探究する資質能力を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の授業見学を行い、自らの授業改善を行った教員 85%以上</li> <li>・「週5日以上自主学習に取り組めた」と答える生徒 75%以上を維持する</li> <li>・「授業がわかり、学力が伸びている」と答える生徒 90%以上を維持する</li> <li>・学習方法、学び方の改善を生徒に助言した教員 80%以上</li> <li>・「情報セキュリティーを意識した活用を心掛けた」と答える教員、生徒 95%以上を維持する</li> <li>・ICTを活用する授業を行う教員 95%以上を維持する</li> <li>・「総合的な探究の時間を通して、自分で課題を見つけ解決する力がついた」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	<p>教務課</p> <p>教務課</p> <p>教務課</p> <p>教務課</p> <p>図書情報課</p> <p>図書情報課</p> <p>総合的な探究の時間推進委員会</p>

ウ	<p><b>自立と探究</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業観を育てる機会を設け、働くことの意味や社会との関わりについて、主体的に考える姿勢を養う</li> <li>・「進路講座」「夢ナビ」「企業説明会」等を通して多様なロールモデルや進路を知る機会を提供し、生徒の興味・関心を広げる</li> <li>・生徒が自己の可能性を広げられるよう、模擬試験の計画的な受験や、各種検定への積極的な挑戦を促し、支援する</li> <li>・探究活動や進路指導を通じて、自らの意志で進路を選択し、未来を切り拓くたくましい姿勢を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的に将来（進路）について考え、行動した」と答える生徒 90%以上</li> <li>・「本校の進路指導に満足している」と答える生徒 80%以上</li> <li>・生徒の進路相談、小論文、面接指導等に、全教職員が組織的に関わる。全校体制での指導実施率 100%</li> <li>・各種検定や資格取得に挑戦した生徒 50%以上</li> <li>・「模擬試験や検定等を活用して、自分の学力伸長に努めた」と答える生徒 80%以上</li> <li>・「探究活動や進路指導を通して、自分の興味・関心に基づいた進路を自らの意志で決定できた」と答える生徒 85%以上</li> </ul>	<p>進路課</p> <p>進路課</p> <p>進路課</p> <p>教科 進路課 進路課</p> <p>総合的な 探究の時間 推進委員会</p>
エ	<p><b>共生と幸福</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、HR活動、生徒会活動、部活動への積極的な参加を促し、生徒一人ひとりの安心・安全な居場所づくりと主体性の向上を図る</li> <li>・健康、生命を大切にしている指導及び人権教育を外部講師の活用も含め計画的、継続的に実施する</li> <li>・魅力ある図書館づくりや朝読書等の推進により、本に親しむ機会を増やし、豊かな感性を育む</li> <li>・地域や社会への貢献意識を高めるため、ボランティア等の自発的活動を促し、その取り組みを積極的に発信する</li> <li>・教育相談やSC（スクールカウンセラーとの連携、アンケート調査等により生徒の心のケアを行うとともに、個々の情報を教職員間で共有する</li> <li>・生徒が相談できる教職員を自分で選べる体制を整え、生徒一人ひとりの安心・安全な居場所をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活に満足している」と答える生徒 90%以上</li> <li>・「クラスや授業の中で、自分の意見を否定されず、安心して発言できる（心理的安全性がある）と感じる」生徒 80%以上</li> <li>・人権や生命の尊重、健康に関する講演会等の実施 年間 2 回以上</li> <li>・「毎月 1 冊以上の読書をした」と答える生徒 70%以上</li> <li>・「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」と答える生徒 80%以上</li> <li>・教職員アンケートにおいて「生徒の心身の状況や課題について、教職員間での迅速な情報共有と組織的対応ができています」と答える教員 90%以上</li> <li>・いじめ見逃し 0 件</li> <li>・「学校に信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	<p>学年</p> <p>学年</p> <p>保健相談課</p> <p>図書情報課</p> <p>学年</p> <p>管理職</p> <p>保健相談課 学年</p>
		<p><b>【地域・社会とつながる実践的な学び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外の活動・イベント情報を積極的に提供し、ボランティアなど社会に関わる活動への参加を促す</li> <li>・地域コーディネーター、大学等とのオンラインなどを使った交流を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進んでボランティア活動等に参加できた」と答える生徒 50%以上</li> <li>・外部との交流を通じ、『多様な価値観に触れ、自分の視野が広がった』と肯定する生徒 85%以上</li> </ul>	<p>学年 (関係部活動)</p> <p>総合的な 探究の時間 推進委員会</p>

様式第 1 号

オ	地域協働	<p><b>【地域・保護者との信頼関係の構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、行事、部活動の様子を SNS、ホームページ等で広報し、本校の教育活動への理解を深める</li> <li>・ P T A 活動の内容を精選し、保護者が過度な負担なく協力し合える環境を整える</li> <li>・保護者アンケート等の結果を分析し、学校経営の改善に生かす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会等において、「SNS や HP を見て本校の教育活動への理解が深まった」と回答する中学生・保護者 70%以上</li> <li>・ P T A 行事等への参加率 50%以上</li> <li>・「掛川東高校の教育に満足している」と答える生徒及び保護者 75%以上</li> </ul>	<p>総務課 図書情報課 広報委員会</p> <p>総務課</p> <p>管理職 全職員</p>
カ	学校運営基盤	<p><b>【教職員の働き方改革と業務の平準化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な業務遂行に努め、会議等は勤務時間を厳守する。(NES 掲示板の有効活用)</li> <li>・各自が週 1 日の定時退勤日を定め、実践する</li> <li>・分掌、業務分担を平準化し、一部の教職員に負担が偏らない「チームとしての学校運営」を推進する</li> <li>・教職員が主体的に業務効率化をはかり、次年度を見据えた持続可能な働き方を創出する</li> <li>・部活動ガイドラインの趣旨を踏まえ、生徒と教職員の双方にとって持続可能な部活動運営を行う</li> </ul> <p><b>【時間意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 分前の行動により生徒、教職員がともに時間に対する規範意識を高める</li> </ul> <p><b>【健全な学校運営とコンプライアンス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月例のコンプライアンス研修を通じて教職員の危機管理意識を高め、不祥事の未然防止を徹底する</li> <li>・財政負担の軽減に努めながら学校予算を適切に執行し、計画的な教育環境の整備を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定された時間内での会議 80%以上</li> <li>・週 1 回定時退勤できた教職員 70%以上</li> <li>・業務の負担感・多忙感が「改善された」と答える教職員 50%以上</li> <li>・生成 AI 等の活用により業務効率化を推進し、業務のマニュアル化と次年度への引継ぎを推進した教職員 80%以上</li> <li>・全ての部活動でガイドラインに則った活動計画を策定・実施 100%</li> <li>・授業等の始業・終業時刻の遵守(教員)、および生徒の遅刻者ゼロを「目指す」</li> <li>・教職員の事故・不祥事等の発件数 ゼロ</li> <li>・監査等における重大な指示・指摘事項 ゼロ</li> </ul>	<p>管理職 主任課長 管理職</p> <p>管理職</p> <p>管理職 主任課長</p> <p>管理職</p> <p>全職員</p> <p>管理職</p> <p>管理職</p>